

人生百年シナリオ

「土台は健康！」～基本は生活習慣～

「生活習慣病」最近をよく耳にする言葉ですが、10年くらい前までは「成人病」と呼ばれていました。糖尿病や高血圧プラス3大疾病(がん・心臓病・脳血管疾患)を総称する呼び名です。3大疾病だけで死因の約6割を占めます。そうすると「生活習慣病」にさえならなければ「百年シナリオも夢じゃない」と思いませんか。

「成人病」という言葉が使われ始めたのは昭和30年代で「40～60歳くらいにかかりやすい病気」という認識だったようです。ところがこの程度の認識ではイメージがあまりにも曖昧で、「病気の実態がわからず、予防もできない」と提唱したのが聖路加病院の日野原先生です。

先生は『長く「成人病」と呼ばれたなかの高血圧、心臓病、糖尿病などは塩分や糖分の過剰摂取など、バランスを無視した食習慣が原因。また、タバコによる肺がんや心臓病、アルコール類の取りすぎが積み重なって起こる肝臓病もありますし、運動不足も大きな原因

の一つ。こう考えると、病気の主な原因はよくない生活習慣にほかならない。それならば、「生活習慣病」と呼ぶのがふさわしい』と考えたそうです。

また、先生は「繰り返す毎日の行動を変えることによって、新しい習慣を身につけることができる。そんな柔軟な考えで人生に取り組んでみると、明日からの日々がもっと輝いて感じられるに違いない。習慣が人をつくる、心も体も」とおっしゃいます。

「あなたを健康(元気)にする習慣は何ですか？」



キーストーンアライアンスメンバー(大阪)
「人生百年シナリオ」プロデューサー
～偉大なように生きる～
井上 弘一(イノウエ ヒロカズ)

昭和33年生まれ、兵庫県姫路市出身

「人生のゴールがゴールとしたら、あなたはどんなシナリオを描くでしょう?」
「ゴールを思いだすことで広がる世界を伝えたい!」
4年前から取り組んでいる「セブンドライブ旅行」(書庫・楽座・住まい・志望・お金の考えなど)はほぼどまりませんが、「自分のゴールをどこに置くか?」がとても重要と考えます。



生きがい・趣味

「サッカーを通じて」



前右から2番目が筆者

今年41歳の私、未だサッカーというスポーツを観戦するのではなく、プレーする事に喜びを感じております。10歳からボールを蹴り始めて小・中・高・大と真剣にやってきました。社会人になり、数年ボールを蹴ることから遠ざかっていたのですが、93年にJリーグが発足。日本中にサッカーのブームが沸き起こりました。こうなるとずっとプレーしていた私としてもじっとしてはいられません。仲間を探し、チームを作りました。もともとサッカー大好き人間が集まっていますので、休みの日になると練習試合や公式戦などでプレーしました。(もちろん、草サッカーですけど)

小学校6年生の長男、4年生の次男、5歳の長女がおりますが、長男次男も私と同じ



昨年、長男の所属チームが長崎市で3位になりました。

くサッカーをやっており、長男は小学校のチームでキャプテンを務めています。二人とも将来はプレミアリーグでプレーする淡い夢(笑)を持っていますが、夢を語る子供の目はキラキラ輝いていて、微笑ましくもあります。

自分自身のサッカーで一生懸命だった私は、最近では専ら子供たちの練習に付き合ったり、土日の練習試合のお世話や車出し、公式戦の応援です。勝った負けたで同じチームの保護者と共に喜び、泣き、それをネタに酒を飲み、とても楽しいコミュニティになっています。40歳を過ぎて、私は40歳以上のリーグに参戦しました。まだまだボールを蹴っていたい少年おじさんです。



竜蔵(りゅうせい)・長男
PK戦にて

キーストーンアライアンスメンバー(長崎)
株式会社キーストーンプロジェクト
代表取締役社長 東川 勝彦(ヒガシカワ カツヤ)

昭和43年生まれ、長崎県長崎市出身

2009年「ニュー・生命のファイアプランナー」から専横代聖田橋中ロスフランニング

へ転職。

2008年神戸キーストーンプロジェクト設立。親の事業所の所在地は従来電業の事業を継いだ長崎の南島上野町の生命の扉(生命の扉でいい)。汗としてお客様の相談業務を行う一方、従業員などの企業研修にも参加中。



夢・目標の実現のための海外資産運用講座～PTMC理論～

PTMCとは、「複数通貨および多国国居住による移動可能な職業」Portable Occupation Theory with Multi-Currency and Cross-Border Schemeの頭文字を取った略であり、日々変動する世の中を生きる我々に必要な「幸せな、ライフスタイルの実現や生き方をする為の知恵」です。PTMCを達成する方法を、GGLでは会員の皆様と共に学びながら、実践しています。



ポータブル・オキュペーションの必要性

ポータブル・オキュペーションとは、独立自由業・携帯職業とも訳され、いま自分が住んでいる国以外の国でも収入を得る方法を作ることです。職業として具体的に言うと、右図の表にあげられるものです。ただこれらは、残念ながら誰にでもすぐに目指せる方法ではありません。

では、GGLが推奨する誰にでも目指せるポータブル・オキュペーションとは？

答えは「お金に自分の代わりに働いてもらうこと」つまり資産の運用・投資をすることです。

決して楽をして利益を得ることを目的としているわけではなく、昨今の世界経済の著しい変化に対応しながら生活を安定させる為の手段と言えます。

資産の運用、投資と聞くだけで拒否反応を示す方も少なくないと思います。

そして、その理由のひとつとして【投資には、逆にお金を減らしてしまう。損をする危険性があるから】と考える方も多いと思います。

確かに、投資をする以上、損をする危険性という意味でのリスクは、必ず伴います。絶対損をする可能性の無い投資は存在しません。しかし、しっかりと投資について勉強し理解することにより、その不安は解消されるでしょう。

投資だけに限らず、どんな事においても自分が知らないこと、わからないことに対して、不安を抱えたり疑心暗鬼になったりするのは、人として自然なことです。

ただ、この変化が多く不安定な世の中では「なにもしないこと」「なにも知らないこと」もリスクの一つとなる可能性があることも考えてみてはどうでしょうか。



ポータブル・オキュペーションにあたる職業例

- 作曲家、作詞家
- デザイナー、通訳、漫画家
- 画家、一部プロスポーツ選手
- 調理師、美容師
- 発明や特許による権利収入
- 印税や著作権などの知的所有権保有者

■ ナマの海外情報 視察ツアーレポート&ロングステイ情報

■ ハワイでのネットワークをご紹介します！

今回このコーナーでご紹介するのは、ハワイで日本人向けのサービスを提供している二つの企業。

一つ目は、我々の同業であるFP事務所「ザ・パシフィック・ブリッジ・カンパニーズさん（以下PBC）」日系人オーナーによる80年近い歴史を誇る会社で、当初は日系移民の人達に生命保険を提供していたのですが、今はハワイだけでなく西海岸にも進出、一流の弁護士や会計士、不動産のプロなどと連携をとりながら、顧客の資産管理全般に携わっています。また、将来ハワイ・アメリカで移住やロングステイを考えている方や、米国在住の家族への相続を考えているような日本人に対しても、トータルなファイナンシャルプランニングの相談業務を行っており、東京にも支店を構えています。

そして、もう一つの会社は、日本人向けにロングステイ用のコンドミニアムや宿泊施設の斡旋を行ったり、オフの不動産に関する情報を提供するロングステイサービス・ハワイさん（以下LSH）。ワイキキの中心地カラカウア通り沿いのワイキキ・ビジネスプラザに事務所を構え、日本人旅行者にとっても大変わかりやすく、訪問しやすい場所にあります。

同社ともハワイでのロングステイに関する情報が豊富で、「セカンドライフはハワイで」とお考えの方々は、とても有益な話を聞くことができます。関心がおありの方は是非私どもにご一報ください。両社をご紹介させていただきますので。

キーストーンアライアンス代表
石野 毅

■ 海外での体験は得がたい人生の資産になります！



PBCさんは、まさに日本とハワイ・アメリカをつなぐ架け橋の役割をしています

PBCでFPをされている鈴木バトリックさん（中央）と事務所にて



LSHの三田社長（後列中央）とスタッフのみなさん



LSHさんの事務所はラウンジも豪華で、スタッフの皆さんもとても親切に対応してくれます



FP的視点で人生設計を考える

お金の百年シナリオを視覚的にイメージする

私たちがお客様に対してライフプランの相談をする場合、重要視するのは将来にわたるお金の収支計画。

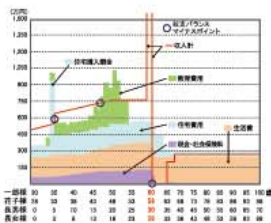
まずは、ご家族のライフプラン表(前号で掲載)を作成し、そこに月々かかる生活費やレジャー費用、教育費、住宅ローン、そして老後資金など、具体的に予測できる支出額を入力していきます。また、将来にわたるご主人や奥様の収入予測も入力し、年度別の収支計画(キャッシュフロー)表を作成します。その結果出てくるのが、下図の収支計画グラフなのですが、今回は一般的な30歳サラリーマンの事例で作成してみました。

赤い線グラフが収入、色分けした棒グラフが年度別の支出を表しますが、ライフステージ上のどの時期に収支が苦しくなり、どの時期に貯蓄をしておかないといけないかが視覚的にわかりただけだと思います。この事例では、ご主人が35歳のときに住宅(マンション)を購入し、30年ローンを組む設定とし、それ以降奥様がパートで58歳まで年間百万円の収入をあげるような計画としました。すると、このグラフ上で収支バランスがマイナスになる時期が3箇所あることを確認いただけるかと思えます。

一つ目は、住宅購入時の頭金支払いのタイミング。それまでの収支に余裕がある時期にしっかり頭金を貯めておかないといけませんね。二つ目がお子様大学入学のタイミング。少なくとも学資保険等の貯蓄を早い時期から始めておく必要があります。そして、三つ目が定年後の60歳からの期間。この時期までに住宅ローン等の借入金は繰上げ返済等で少なくとも完済しておくべきですし、老後の資金をしっかりと準備しておかないといけません。特に今回は、老後の公的年金を今の給付水準で夫婦二人がもらえるものとして設定していますが、これらで20年、30年先の日本の年金制度がどうなっているかも予測しておく必要があるかも知れません。

百歳まで豊かに幸せに生きるために、将来の予測を立て、今から準備できることを実行する。

くれぐれも、気づいたときに既に「手遅れ」になっていませんように！



キーストーンアライアンスメンバー紹介 ~東京編~

北海道から沖縄まで、全国で活動しているアライアンスメンバー。個性溢れた独自の展開を行っているメンバーが毎号続々登場です。

今月のメンバーピックアップ

保険マンモス株式会社 代表取締役 古川 徹



スタッフとともに

Q1: 理念・信念・モットー

①ネットを使って保険の流通を、ユーザーも提供者(保険会社・保険代理店)も双方ストレスないものになりたい②マス広告されないが、実は私達保険のプロが自分自身で加入している「隠れた良い商品」を知らしめたい③独立系のファイナンシャルプランナー(=FP)が保険の相談相手として最適であることを「保険の無料相談」を通じて広めたい。この3つが弊社の実現したいことです。

Q2: 最近感動したこと

経済人・寺島実郎氏の時代先見塾に今年から参加していますが、視野の大きさに感動！勉強できる環境にいるありがたさに感動！

Q3: 自慢の能力

まだなんとかドラマも現役ですが、ドラマ筋が衰え始めており、愕然。頑張って今月大学のサークル同窓会で3曲やりませう！(笑)

メッセージ

ネットを通じて「日本人の金融リテラシーの向上」に寄与したい！「保険マンモスの発信する情報に出会えたお陰で、大きな失敗もなく済んだよ、助かった！」と言われたい。その為には、真にユーザーに役立つ情報と知恵、それを分かりやすく伝えるコンテンツをまっすぐに・かつ地道に「日々開発し続けること」！これこそが弊社の企業価値と存在意義を確かなものにしてくれると確信しています。その上で、提供させて頂く「サービスの質」が勝負となります。この部分は今後ユーザー評価を積極的に取り入れることで一層の向上を図りたい。結果としてユーザーからの圧倒的な支持が付き続けてくれると信じているのです。



弊社オフィスにて(筆者)

〒140-0001
東京都品川区北品川3-6-2 品川IMSビル6F
保険マンモス株式会社
TEL: 03-5782-8500
FAX: 03-5782-8501
E-mail info@hoken-mammoth.jp
URL http://www.hoken-mammoth.jp/

キーストーン百年シナリオ通信発行元

株式会社キーストーンFPコンサルティング
〒531-0072 大阪府北区豊崎3-9-7 いずみビル5F
発行責任者 石野 毅

TEL ☎0120-140-439 FAX ☎0120-707-139
E-mail info@kanameishi.com URL http://www.kanameishi.com

あなた様からのお問い合わせやご意見・ご感想お待ちしております。
返信用封筒、E-mail、FAXをご利用ください。